



19万人のひろば

ピアノコンペティションの全国大会で金賞を受賞



▲戸谷木香さん

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)が主催するピアノコンペティションの全国大会。「A1級」で村上東小学校1年の戸谷木香さんが、「連弾中級」で高津中学校3年の長村郁実さん・拓実さんが金賞を受賞しました。

ピアノを始めたのは3歳からという戸谷さん。ピアノの先生だった母親の影響で、自然と弾き始めていたそうです。現在は、「12月のコンサートで上手に弾けるようがんばっています」と毎日欠かさずに練習しています。

長村郁実さん・拓実さんは双子の兄弟で同大会での金賞は2回目。「双子なので間の取り方やタイミングが自然と分かって音楽が作りやすいんです」と声をそろえました。現在受験生の2人は、3月に行われる入賞者記念コンサートに向け、受験勉強と両立させながら練習に励んでいます。



▲長村郁実さん(奥)と拓実さん

八千代高校「鼓組」が全国総合文化祭で優秀賞

「文化部のインターハイ」と呼ばれる全国高等学校総合文化祭。八千代高校「鼓組」が「郷土芸能部門・和太鼓の部」で2位にあたる優秀賞並びに文化庁長官賞を受賞しました。

26代目組頭の菊池葵さんは「今回演奏した演目“獅子”は先輩が作曲したもの。先輩たちが積み上げてきた歴史があってこそこの入賞だと思います」とうれしそうに語りました。

「鼓組」といえば、成人式やお祭りなどさまざまなイベントに出演する華やかなイメージがありますが、普段の練習では大変苦労しているとのこと。「近隣の人たちの迷惑にならないよう太鼓に見立てたタイヤにさらに毛布やスポンジをまいて練習してきました」と演目リーダーの阿部博洋さん。「苦心しながらの練習でしたが、その成果がでてうれしいです」と語りました。



▲初めての国立劇場での演奏後に

今回、初めての全国入賞を果たした鼓組。8月31日には、各部門4校の上位入賞校だけが出場できる国立劇場公演に出演し、多くの観客を魅了しました。

伝統と進歩の味



▲じゃんけんの勝者5人にはコンテストで入賞した梨が1箱ずつプレゼントされました

やちよの梨味自慢コンテストで大じゃんけん大会

今年は八千代市で梨がつくられて100周年の年。梨は長い月日の中で改良が加えられ、より甘くおいしくなりました。その味を競う「やちよの梨 味自慢コンテスト」が9月6日、イオンモール八千代緑が丘で開催され、たくさんの人でにぎわいました。

会場では梨の歴史コーナーや入賞梨の展示、試食・販売、クイズ大会など多くのイベントが行われました。今回のメインイベントは大じゃんけん大会。司会者の掛け声に合わせ、市長や、やちよを相手にじゃんけんが行われ、会場は200人の歓声で沸きました。

自助の大切さを実感

8月31日、総合運動公園多目的広場、市民体育館で八千代市総合防災訓練が行われました。

テーマは「体験型の訓練」。避難所開設訓練や土のう作製訓練、はしご車搭乗体験、家具等の転倒防止対策などのコーナーが設けられ、2,013人の参加がありました。

今回の防災訓練では、新たな試みとして「シェイクアウト訓練」が行われました。この訓練は、2008年にアメリカからはじまり、合図と同時に地震から身を守るための行動をとります。午前9時、合図があり参加者は一斉に「体を低く」「頭を守る」「動かない」の基本行動をとりました。

また、「避難所開設訓練」では、震度6弱の地震発生想定の下、5地区の参加者がグループごとに市民体育館へ

8月31日、総合防災訓練を開催



▲転倒防止対策では実演で家具を固定する大切さを学びました

避難。職員の説明を受けながら、避難所で自分たちが何をすべきかを考え、行動しました。訓練後参加者からは、「受け身ではいけない。自分たちが主役なんだと思った」との声があり、避難所運営への意気込みが感じられました。

選評 一句目、庭掃除をして綺麗になった所へ俄か雨がいきいきと濡れた土の色と、雨が掛かった釣糸の緑が効果的。二句目、一読して情景が目につく、心が洗われるような感動を感じる。特に中七・下五のリズムが良く、景が鮮明である。三句目、日常の暮らしの中から自然に生まれた一句。ずるずると日を過ごしているようでも、季節は確実に移っている。暑さを嘆いていたのに、ふと耳にした虫の声。やはり何事にも区切りはあるのだ。中七の「も」が巧みだ。四句目も「風」の微妙な所を捉えていて面白い。

掃き終へし庭にひと雨釣糸 大和田 四郎
風涼し富士の裾野の夜明け前 勝田台北 一條 修子
区切りなき日々の暮らしも虫の声 八千代台北 小川 育代
白扇に隣席の風行き違ふ 吉 橋 安原 和子
つづやきに應へて揺るる立葵 緑 丘 上 條 秀元
庭蜻蛉ひねもす同じ木の枝に 勝 田 草野 純子
骨格の太きは母似立葵 米 本 田 千葉佐代子
終の家と決めて馴染みし釣糸 上 高 野 小沢 紀子
炎天を掻き分けて行く整骨院 八千代台東 山田 圭子
秋つばめ夕日のかげら揃ひけり 緑 丘 若林 佐嗣
一病は息災ならず大暑かな 勝 田 沼本 嘉幸
鎌倉の古利根無く蝉しぐれ 勝 田 台 杉本美恵子
花芙蓉風まかせなる重さかな 村上団地 浜西 幸子
秋の蚊の戸惑ひながら我れに寄る 八千代台南 豊永 純子
菜園の色独り占め花カンナ 村上団地 岡 澄雄
鼻の先濡らして子らの西瓜食ぶ 上 高 野 吉田 一朗
芋がらの味噌汁の香に母憶ふ 大和田新田 熊谷 文男

やちよ俳壇 502回 小林希世子選

リサイクル・ガイド

消費生活センター 電話485-0559
●この欄のお問い合わせは、消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時まで(午後4時～5時は電話483-1151へ)。市内在住の人が対象です。企業・営利団体は利用できません。
【あげます】▶漬物石(4kg・7kg・12kg各1個、2.5kg2個) ▶着物用バッグ2個(紺色・エンジ色) ▶回転いす ▶介護用ベッド ▶車イス ▶空気清浄機(フィルター付き)
【ゆずって・有料】▶柔道着・空手着・合気道着

テレビ 広報 やちよNAVI

八千代市と印旛沼
J: COMチャンネル(デジタル放送11ch デジアナ変換放送2ch)で1~15日12時、20時30分/各15分間



PDF 広報やちよは、市ホームページでも見ることができます(PDF版)